



大阪経済記者クラブ会員各位

大商「SDGs・ESG ビジネスプラットフォーム」
ESG&カーボンニュートラル支援コンサルティングの開始について

【お問合せ】大阪商工会議所 国際部 大西

TEL：06-6944-6400

大阪商工会議所は、ソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社の協力を得て、ESG やカーボンニュートラルをテーマにした有料コンサルティングの利用企業を本日より募集開始する。国際的にCO2 排出量削減を求める動きが高まっていることを背景に実施するもの。

- 企業の ESG 対応やCO2 排出量削減などの取り組みを支援するため、①「GHG(温室効果ガス)排出量算定セミナー」、②「GHG 排出量算定支援」、③「GHG 排出量・非財務情報第三者検証/保証」、④「CDP(気候変動)質問書・サプライチェーン質問書 回答支援」の4つのコンサルティングメニューについて利用企業を募集する。

※①「GHG(温室効果ガス)排出量算定セミナー」、④「CDP(気候変動)質問書・サプライチェーン質問書 回答支援」(一部)については、セミナー形式で開催することによって1社あたりのコスト負担を軽減できるようにする。

- また、ESG やカーボンニュートラルへの中小企業の意識改革や対応を促すべく、セミナー「カーボンニュートラルと人権、今サプライヤーに求められるもの(12/8)」、「“脱炭素化の見える化”による、企業価値の向上(12/16)」をそれぞれ無料で開催する。

- 大阪商工会議所では、今年8月に大商「SDGs・ESG ビジネスプラットフォーム」を発足。SDGs やESG に関心を寄せる企業を集め、「学ぶ」(セミナー等による情報提供)、「取り組む」(コンサルティングの提供)、「事業創出」(オープンイノベーションの推進)の3つの視点で事業を展開している。今回開始するコンサルティングやセミナーは、同プラットフォームの活動の一環として提供するもの。

●GHG(温室効果ガス) 排出量算定とは：環境経営、事業活動をする上でGHG 排出量の算定は必要な要素となっている。大手企業がサプライチェーンも含めた排出量を算定するには、サプライヤーも自社の排出量の把握が必要。

●CDPとは：CDPは、気候変動など環境分野に取り組む国際NGOで、機関投資家に関心のある気候変動関連情報を企業から収集、開示しており、気候変動、水セキュリティ、フォレストの3種ある。ESG投資で、世界で最も参照されているデータの一つにまで影響力を拡大。大手自動車メーカー等から回答を要請されるサプライヤーが規模を問わず年々増加している。

以上

< 添付資料 >

資料1 「ESG&カーボンニュートラル支援コンサルティング」案内

資料2 「カーボンニュートラルと人権、今、サプライヤーに求められるもの(12/8)」セミナー案内

資料3 「脱炭素化の見える化による、企業価値の向上(12/16)」セミナー案内

資料4 大商「SDGs・ESG ビジネスプラットフォーム」説明資料

～選ばれるサプライヤーへ、攻めの ESG&グリーン戦略～

ESG&カーボンニュートラル支援コンサルティング

CO2 排出量削減への対応は、Apple が 2030 年までに製品の生産プロセスからサプライチェーンも含め、温室効果ガスの排出を実質的にゼロにすると表明するなど、**サプライチェーンマネジメントの観点から中堅・中小企業にとっても決して無縁ではありません**。わが国においては「2050 年のカーボンニュートラル実現」に向け、政府が産業構造や経済社会の変革を実現すべく、様々な政策を総動員して「グリーン成長戦略」を推し進めようとしています。

そこで、大阪商工会議所では、**新たに ESG やカーボンニュートラルに対応した支援メニューを提供**いたします。**カーボンニュートラルや ESG への対応に向けて、是非、ご利用ください。見積りや相談は、無料です。**

＜ESG&カーボンニュートラル支援コンサルティングの例＞ ※貴社の要望に応じてカスタマイズ（下記以外を含む）も可能 !!

	支援メニュー	費用の目安(税込)	支 援 の 内 容 等
1	GHG（温室効果ガス）排出量算定セミナー	Scope1 と 2: 25 万円 Scope3: 25 万円	- 国際規格である ISO14064-1、GHG プロトコルに基づき、GHG 排出量（Scope1,2,3）の算定方法について解説。 - 環境経営、事業活動をする上で GHG 排出量の算定は必要な要素となってきた。
	セミナーで、 25 万円が 3 万円に！	Scope1 と 2: 3 万円/人 Scope3: 3 万円/人	2022 年 2 月 24 日(木)、25 日(金)開催予定！ (詳細は裏面ご参照)
2	GHG 排出量算定支援	165 万円～	- GHG 排出量（Scope1,2,3）の算定をサポート。Scope1 と 2 のみなど、個別案件への対応も可能。 - カーボンニュートラルに対する国内外の意識の高まりを受けて、引き合いが多い支援メニューの一つ。
	ここが point!	Scope1,2,3 算定のための仕組み作り（算定の範囲、区分等をアドバイス）を目指します。次年度以降は、自社で排出量を算定することが可能になります（すでに算定済のものを確認する場合は費用が下がります）。	
3	GHG 排出量・非財務情報第三者検証/保証	210 万円～	- GHG 排出量（Scope1,2,3）その他 ESG 情報の第三者検証/保証を行う。 - 第三者検証によって自社報告データの社会的信頼度向上を目指し、引き合いが増えている。
4	CDP(気候変動)質問書・サプライチェーン質問書 回答支援	190 万円～ *小分け支援可能	- CDP は英国の慈善団体が管理する非政府組織（NGO）で、投資家、企業、国家、地域、都市が自らの環境影響を管理するためのグローバルな情報開示システム。 - 国内では昨年 11 月末時点での時価総額上位 500 社がアンケートの対象ながら、大手自動車メーカー等から回答を要請されるサプライヤーが企業規模を問わず年々増加している。
	セミナーで、 50 万円が 5 万円に！	5 万円/人	2022 年 2 月 3 日(木)開催予定！(詳細は裏面ご参照)

*小分け支援の内訳は、①CDP の概要説明（50 万円）、②企業が作成した回答書のチェック 1 回目（65 万円）、③企業が修正した回答書のチェック 2 回目（75 万円）となります。セミナーの対象は①のみです。

GHG（温室効果ガス）排出量算定セミナー

- 開催日：＜SCOPE1と2＞ 2022年2月24日(木)、＜SCOPE3＞ 2月25日(金)
- 開催時間：両日とも 10:00～17:00 リアル&オンラインにて開催
- 場 所：大阪商工会議所（中央区本町橋 2-8） 最少催行人員 15 人
- 参加費：各回とも 3 万円/人、同一人物が両日参加の場合は 5 万円/人
*同じ企業からご参加の 2 人目以降（各回ごとに判断）は 2 万円/人（いずれも税込）
- プログラム：ISO14064 シリーズの国際規格に沿った GHG(温室効果ガス)排出量の適正な算定と検証に関する方法を基礎からわかりやすく解説します。

CDP（2022 気候変動）質問書・サプライチェーン質問書、徹底解説セミナー

- 日 時：2022年2月3日(木) 10:00～17:00 リアル&オンラインにて開催
- 場 所：大阪商工会議所（中央区本町橋 2-8） 最少催行人員 15 人
- 参加費：5 万円/人 *同じ企業からご参加の 2 人目以降は 3 万 5 千円/人（いずれも税込）
- プログラム：CDP(2022 気候変動)質問書の全項目を網羅的に解説し、回答する上でのポイントも紹介！前年度の他社回答事例や採点基準の解説も交え、効果的な情報開示をサポートします。

○ソコテック・サーティフィケーション・ジャパンのご紹介

フランスに本社を置く SOCOTEC グループの日本法人。温室効果ガス(GHG)排出量第三者検証（日本適合性認定協会より ISO14065 認定（温室効果ガス妥当性確認・検証機関の認定）を取得、国内 7 社のみ）を行っているほか、CDP（気候変動）の回答評価を行うスコアリングパートナーも務める。

-----相談申込書-----

このたびは、相談お申込み、誠にありがとうございます。申込書が届きましたら、ご希望内容確認のため、大阪商工会議所よりご連絡いたします。

【ソコテック・サーティフィケーション・ジャパン】

貴社名	
住 所	〒 -
部 署	
氏 名	
電話番号	
E-mail	
相談希望メニュー	() ① () ② () ③ () ④ () その他 * 下記「ご相談内容」に貴社のご希望を記載してください
ご相談内容	* ご相談したい内容を、可能な範囲で具体的に記載してください

※ご記入頂いた情報は大阪商工会議所からの各種連絡・情報提供(E-Mail 含む)に利用するほか、申込されたコンサルティング事業者提供します。

※個別支援の利用にあたっては、プログラム提供者であるソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社と契約書を締結することになります。

【詳細・申込】裏面もしくは HP をご覧ください ☞ <https://www.osaka.cci.or.jp/sdgs/option.html>

【問合せ】大阪商工会議所 国際部 大西 TEL : 06-6944-6400 E-mail: intl@osaka.cci.or.jp

カーボンニュートラルと人権、 今、サプライヤーに求められるもの



—国際的なサプライチェーンマネジメントから見た、企業のSDGs/ESG—

日 時：2021年12月8日（水）10：00～12：00

Zoomウェビナー

欧米のグローバル企業を中心に取引先へのSDGsやESGへの要求水準が高まる中、サプライチェーンの観点から**中堅・中小企業にもSDGsやESGへの対応が強く求められています**。

様々なESG課題の中でも、「**気候変動**」は、わが国においても「**2050年カーボンニュートラル達成**」に向け、**国を挙げて取り組むべき課題**になっており、**国の内外を問わず、サプライチェーン全体で脱炭素を目指すという企業の動きが拡大しています**。

また、「気候変動」と並んで注目を集めているのが「**人権**」です。諸外国で、国連「ビジネスと人権に関する指導原則」に沿った国別行動計画（NAP）が示される中、昨年10月、日本でもようやく同計画が策定され、「**外国人の受入れ・共生**」や「**サプライチェーンにおける人権尊重を促進する仕組みの整備**」などを企業に期待すると明記されています。今後は、「人権」に対するバイヤーからの要請も強まりそうです。

本セミナーでは、国際な取引を展開する企業に向けて、「**カーボンニュートラル**」と「**人権**」をテーマに**サプライヤーに何を求めるのか**、お話しいたします。選ばれるサプライヤーになるために、奮ってご参加ください。

●場所：Zoomウェビナー（定員300名）

●参加費：無料（要事前申込）

●申込：<https://www.osaka.cci.or.jp/event/seminar/202110/D11211208024.html>

※申込に際しては、HPで必ず詳細をお確かめください。（申込締切12/6（月）23：59）

※本事業は大阪府の小規模事業経営支援事業補助金を活用しています。アンケートへのご協力をお願いします。



●プログラム：2021年12月8日（水）10:00～12:00

◆講演Ⅰ「**持続可能な調達に向けたシオノギの取り組み**

—国際的潮流から見た、サプライチェーンマネジメントのあり方—」

塩野義製薬株式会社 経営支援本部 サステナビリティ推進部長 工藤 昌子 氏

◆講演Ⅱ「**お取引様と響きあう、サントリーのサプライチェーンマネジメント戦略**

—新たなサステナビリティ調達のあり方を目指して—」

サントリーホールディングス株式会社 サステナビリティ経営推進本部 課長 明石 哲一郎 氏

※講師の略歴等につきましては、裏面をご覧ください



×



<参考：「カーボンニュートラル」や「人権」をめぐる、国際的な動向>

● **カーボンニュートラル**：Apple(米)が先進的で、昨年7月、全事業、製造サプライチェーン、製品ライフサイクルのすべてにおいて、2030年までにカーボンニュートラル達成を目指すという計画を明らかにした。すでに110社を超えるサプライヤーが100%再生エネに振り替えていくと発表している。

● **人権**：1997年に発生した米スポーツメーカー・ナイキが製造委託する東南アジアの工場で発覚した児童労働問題。米国のNGOがナイキの社会的責任について批判し、世界的な不買運動につながった。

◆講師等ご紹介



塩野義製薬株式会社

経営支援本部 サステナビリティ推進部長

工藤 昌子 氏



2007年に監査法人に入社。公認会計士として監査業務を経験した後、同法人のアドバイザー部門でESG関連のコンサルティング業務に従事。
2019年塩野義製薬株式会社に入社し、広報部IRグループに配属。サステナビリティ推進室長を経て2021年7月より現職。

- 塩野義製薬は、環境省の「令和3年度サプライチェーンの脱炭素化推進モデル事業」（5社）に採択されており、今後、我が国における企業の排出削減のロールモデルになることが期待されている。
- 海外のサプライチェーンにおける人権侵害が問題になった際も、いち早く製薬材料などの生産現場の調査を始めることを表明された。



サントリーホールディングス株式会社

サステナビリティ経営推進本部 課長

明石 哲一郎氏



2005年、経験採用としてサントリー株式会社(現サントリーホールディングス株式会社)へ入社。同社において商品開発・マーケティング・事業企画の業務に従事し、2020年4月にサントリーホールディングス株式会社コーポレートサステナビリティ推進本部への配属を経て、20年9月より現職。サプライチェーンにおける企業と人権に関する取り組みを推進中。

- 企業の持続的な成長のためには、サプライチェーンの環境・社会リスクを管理することが重要だが、調達先が複雑化・多様化し、適切にマネジメントするのは難しい。サントリーでは、情報プラットフォーム（Sedex）の活用を進めており、原料・包材の購買金額の70%以上をSedex会員取引先から購入している。
- 今年6月末、「バリューチェーン全体で2050年までにカーボンニュートラルを達成する」と発表。

ご参考) SBT認定企業からのサプライヤーへの要請

SBT（温室効果ガスの削減目標の一つ）認定企業の中には、サプライヤーにもSBT目標の設定を要請する企業もある。サプライヤーにとって、SDGsやESGへの取り組みは、ますます重要になっている。

企業名	セクター	目標		
		Scope	目標年	概要
大和ハウス工業	建設業	Scope3 カテゴリ1	2025	購入先サプライヤーの90%にSBT目標を設定させる
住友化学	科学	Scope3 カテゴリ1	2024	生産重量の90%に相当するサプライヤーに、科学に基づくGHG削減目標を策定させる
第一三共	医薬品	Scope3 カテゴリ1	2020	主要サプライヤーの90%に削減目標を設定させる
ナブテスコ	機械	Scope3 カテゴリ1	2030	主要サプライヤーの70%に、SBTを目指した削減目標を設定させる
大日本印刷	印刷	Scope3 カテゴリ1	2025	購入金額の90%に相当する主要サプライヤーに、SBT目標を設定させる
イオン	小売	Scope3 カテゴリ1	2021	購入した製品・サービスによる排出量の80%に相当するサプライヤーに、SBT目標を設定させる
ジェネックス	建設業	Scope3 カテゴリ1	2024	購入した製品・サービスの排出量の90%に相当するサプライヤーに科学に基づく削減目標を策定させる
コマンシー	その他製品	Scope3 カテゴリ1	2024	購入した製品・サービスによる排出量の80%に相当するサプライヤーに、SBT目標を設定させる
武田薬品工業	医薬品	Scope3 カテゴリ1,2,4	2024	購入した製品・サービス、資本財、輸送・配送（上流）による排出量の80%に相当するサプライヤーに、SBT目標を設定させる

[出所] Science Based Targetsホームページ Companies Take Action (<http://sciencebasedtargets.org/companies-taking-action/>) より作成

—選ばれるサプライヤーへ、攻めのESG&グリーン戦略—



“脱炭素化の見える化” による、企業価値の向上

—GHG(温室効果ガス)排出量算定&CDP質問回答について—

日 時 : 2021年12月16日 (木) 14 : 00~16 : 00 ZOOMウェビナー

欧州が記録的な熱波に見舞われ、シベリアやアラスカなどの北極圏では森林火災が発生するなど、近年、世界各地が極端な気象災害を経験しています。

こうした**気候変動は、金融安定に影響を及ぼし得るリスクの一つ**としても認識されており、主要国・地域の中央銀行、財務・金融当局、世銀等の国際機関が参加する金融安定理事会は、**気候関連財務情報開示タスクフォース (Task Force on Climate-related Financial Disclosures : TCFD)** を設置し、気候関連財務情報開示の枠組みを提示、企業に対して気候変動関連リスクや脱炭素化を捉えたビジネス機会が財務に与える影響の開示を求めています。来年4月から適用される「コーポレートガバナンス・コードの改訂」においてもTCFDに沿った対応が重視される中、上場企業を中心に**「脱炭素経営の見える化」を通じて企業価値の向上を図ろうとする動きが急速に進んでいます。CO2削減は、サプライチェーンの観点から中堅・中小企業においても、もはや無視できる問題ではありません。**

本セミナーでは、**GHG(温室効果ガス)の算定と気候変動等に係るCDPの概略を解説**いたします。貴社の環境経営を見直す機会として、是非、ご活用ください。

- 場所 : Zoom ウェビナー (定員300名) ● 参加費 : **無料** (要事前申込)
- 申込 : <https://www.osaka.cci.or.jp/event/seminar/202111/D11211208048.html>
※申込に際しては、HPで必ず詳細をお確かめください。 (申込締切12/14 (火) 23 : 59)

◆プログラム : 2021年12月16日 (木) 14:00~16:00

◆解説 「“脱炭素化の見える化” による、企業価値の向上

—GHG (温室効果ガス) 排出量算定&CDP質問回答について—」

ソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社 環境対策部長 倉内 瑞樹 氏

※講師の略歴をにつきましては、裏面をご覧ください



● **GHG (温室効果ガス) 排出量算定** : 環境経営、事業活動をする上でGHG排出量の算定は必要な要素となっている。**大手企業がサプライチェーンも含めた排出量を算定するには、サプライヤーも自社の排出量の把握が必要。**

● **CDP** : CDPは、気候変動など環境分野に取り組む国際NGOで、機関投資家が関心のある気候変動関連情報を企業から収集、開示している。**ESG投資で、世界で最も参照されているデータの一つにまで影響力を拡大。大手自動車メーカー等から回答を要請されるサプライヤーが規模を問わず年々増加している。**

◆主な講演の内容

GHG(温室効果ガス)は排出量算定とCDP気候変動質問書への回答対応について解説します。

1. GHG排出量算定

(1) サプライチェーン排出量とは (2) 算定ステップ (3) ステップごとの概要 など

2. CDP気候変動質問書回答

(1) ESGの潮流とCDP (2) CDP回答のポイントと気候変動質問書の概要 など

◆講師等ご紹介



ソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社

環境対策部長 ISO国際主任審査員・ESGテクニカルエキスパート 倉内 瑞樹 氏

2001年 外資系(米国)コンサルティング会社/審査機関 リージョナル マネージャー
2008年 外資系(英国)ISO審査・温室効果ガス検証機関 検証部 部長
2013年 国内最大手ISO審査・JIS・製品安全試験機関 環境審査課 課長
2018年より、ソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社にてご活躍中

＜ソコテック・サーティフィケーション・ジャパンのご紹介＞

フランスに本社を置くSOCOTECグループの日本法人。温室効果ガス(GHG)排出量第三者検証(日本適合性認定協会よりISO14065認定(温室効果ガス妥当性確認・検証機関の認定)を取得、国内7社のみ)を行っているほか、CDP(気候変動)のスコアリングパートナーとして質問票に対する回答支援も実施する。

近日、案内募集！

GHG(温室効果ガス) 排出量算定セミナー

- 開催日：＜SCOPE1と2＞ 2022年2月24日(木)、＜SCOPE3＞ 2月25日(金)
- 開催時間：両日とも 10:00～17:00 リアル&オンラインにて開催
- 場所：大阪商工会議所(中央区本町橋2-8) 最少催行人員15人
- 参加費：各回とも3万円/人、同一人物が両日参加の場合は5万円/人
* 同じ企業からご参加の2人目以降(各回ごとに判断)は2万円/人(いずれも税込)
- プログラム：ISO14064シリーズの国際規格に沿ったGHG(温室効果ガス)排出量の適正な算定と検証に関する方法を基礎からわかりやすく解説します。

＜SCOPE1と2＞ 1) サプライチェーン排出量とは 2) SCOPE1と2排出量における、①計算方法、②算定の基準、③算定のステップ 3) 排出量算定の文書化 4) 第三者検証への備え
＜SCOPE3＞ 1) SCOPE3 排出量とは 2) SCOPE3排出量における、①算定のステップ、②カテゴリー別(1～15)算定 3) 排出量算定の文書化 4) 第三者検証への備え

CDP(2022気候変動) 質問書・サプライチェーン質問書、徹底解説セミナー

- 日時：2022年2月3日(木) 10:00～17:00 リアル&オンラインにて開催
- 場所：大阪商工会議所(中央区本町橋2-8) 最少催行人員15人
- 参加費：5万円/人 * 同じ企業からご参加の2人目以降は3万5千円/人(いずれも税込)
- プログラム：CDP(2022気候変動)質問書の全項目を網羅的に解説し、回答する上でのポイントも紹介！前年度の他社回答事例や採点基準の解説も交え、効果的な情報開示をサポートします。

【お問い合わせ】大阪商工会議所 国際部 大西 Tel(06)6944-6400 E-mail:intl@osaka.cci.or.jp

大商「SDGs・ESGビジネスプラットフォーム」について

2021年8月5日、スタート！

■設立趣旨

1.SDGsやESGは、企業の大小をと問わず避けて通れない！

国連のSDGsの採択やESG投資の盛り上がり、菅首相による2050年カーボンニュートラル宣言など、日本でSDGsやESGを求める風潮が高まっている。とくに欧米の意識は高く、グローバルに展開する企業によっては避けて通れない課題であると同時に、サプライチェーンの観点から中小企業にとっても無関係ではない。

2.ビジネス環境の変化はチャンス！新ビジネス創出につなげることが重要！

大商では他の商工会議所に先駆け、SDGsやESGの達成に取り組んできた。その優位性と大商固有のマッチング力を活かし、国内外企業の連携を促進し、SDGsやESGに関連した新ビジネスの創出を支援する（大商の既存事業の活用、他の関連団体と連携した事業実施等を想定）。

＜不定期でSDGsやESGに関する情報をお届け！＞

登録は、こちらから

<https://www.osaka.cci.or.jp/sdgs/>



SDGs・ESGを学ぶ セミナー等を通じた情報提供



- 啓発セミナー（国内外の状況や政策、企業事例等をセミナー等を通じて提供）
- 先進地域・事例視察（SDGsやESGの先進的事例を実地に視察）
- HP（SDGs専用HPを通じた情報提供）

SDGs・ESGに取り組む コンサルティングサービス提供



- 大商「SDGs・ESG対応支援」コンサルティング
個社コンサルのシェアリングで、
安価で質の高いコンサルティングを提供！
大商ならではの良さを活かしたサービスです
※ワークショップとオプションメニューがあります

SDGs・ESGで事業創出 オープンイノベーションの推進



- Meet-upイベント&個別相談会
他の団体と協力して、オープンイノベーションで
産学連携や産産連携を進め、新規事業の
創出を後押し！
実証実験も含め、幅広く新しい事業の誕生を
支援します

プラットフォームの概要

◆募集開始

- 2021年8月5日(金)開始！
& 第1回Meet-upイベント開催
(大商ワークショップ・ビジネスプラン発表・交流会)

◆登録費用

- 無料（個別事業で参加費を徴収する場合有）



お役に立ちます！
大阪商工会議所

